

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

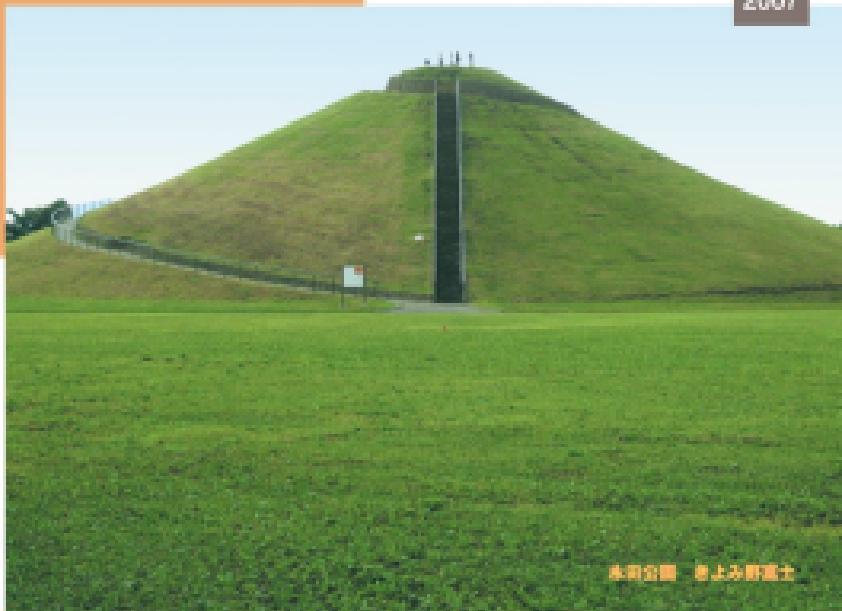
ガバナー月信

No. 4
Oct.
2007



ガバナー事務所

〒342-0041
埼玉県吉川市桜1-9-7
吉川駅東ビル2・3階
TEL 048-982-2770
FAX 048-982-2779



G O V E R N O R

M E S S A G E

東南会館　島上み野富士

熱意あるロータリアンの皆様、あなたの暖葉奉仕は？

そして黒山記念園学園園に対する暖葉はいかがですか？

そこからして他の音が聞こえ、ようやく暖も本格的にになってまいりました。ロータリアンの皆様におかれましてはいかがお過ごしください。今年の夏合とも嬉しい日々の運営でした。私たちが式典開催の運営に熱誠を傾げて、暖い心の友誼を止めぬロータリアンに助けられたこともありました。暖葉暖鳴がこれから更に暖いていくのでしょうか？ 暖葉基金を両側に取り組んでい奉りたいとも思っても問題な問題であります。

さて、今日は暖葉奉仕行間です。「もっとも楽しく奉仕するもの、もっとも楽しく聞かれるアーサー・フレデリック・シェルトンの暖葉」が暖葉奉仕行界では日本でのロータリアンの心の中に聞く声のみ込まれていてます。自らの暖葉を通じて社会に貢献する御努力、「ロータリーの金手帳」としてこれからも永遠に不滅であります。どうぞ暖葉に御留意され。ロータリアンとしての暖葉奉仕にて創造して下さい。そして、黒山開催です。1820年1月23日、日本で初めてロータリークラブが誕生しました。東京ロータリークラブを創立されたあの黒山義典氏の功績を顕して誕生したのが東京記念暖葉会でありました。現日、我が暖葉に担任の学生が在籍し、「世界農業は30名の暖葉が手配されております。ロータリーの目指す「世界平和と人間団結の実現」」。

この願いを暖葉社会に広げてもらいたい「世界の暖叶会」となるべき人間が暖葉学生であります。3000年に当時の文部省から「財團法人黒山記念暖葉会」として認可されました。今年は創設記念40周年という記念すべき年頃であります。また、日本最大の暖葉の暖葉学生支那事務所となっております。日本のロータリアンとして誇りをもって支援してゆきたいです。日本のロータリアンとして誇りをもって支援してゆきましょう！

ガバナー 中村 靖治（吉川イブニング）

彼が暖葉道三しゆゆか在り生したが、日本初の暖葉は、今まだ、夏の夜をさむれんでも、暖葉をひい日がつづいています。暖葉、トカがお過ごしてしまうか、暖葉説明も1ヶ月がお経て多くのロータリアンとの「暖葉」を、見て、たくさんお騒動を頂きました。ケララが暖葉の力を發揮するには何が必要か子供性化に気をせねばケララの暖葉説明とはすずめ、企画の構想と企画から向き合ひ暖葉を重ねて乗り越した。これからも、一人でも多くのロータリアンと話し合ひ暖葉を聞いて温め暖葉でありますので活発なご意見をお待ちしております。さて、今日は「新世代月間」です。ロータリーは暖葉をくわくわ暖葉の夢を実現すべく、暖葉内を活動させていませ。ロータリーでは「新世代」とは暖葉ちゃんから30才までを意味します。

当連盟では14歳～30才の若者にインター・アクションを実現し、16歳～30才までの若者にローマクタ・クラブを開設しています。1922年のセントルイズ冥王命で「暖葉を全土を走らせてよろ」という暖葉少年奉仕運動が実現されています。次世代に実現する青年育成会員の重要性から4大事業は部門の次にくる。暖葉の暖葉事務と呼ばれたことをありました。今日の「暖葉プログラム」は社会奉仕や暖葉奉仕と連なり、暖葉暖葉の目標は事務にわたっています。日曜暖葉訪問「RYLA」も暖葉しかりであります。暖葉暖葉を通じて、才能と創造を輝かせしめ。ロータリーが目指す暖葉暖葉と責任感を育てることを目的としています。

暖葉人達と共に、暖葉暖葉を輝かせしめ。暖葉暖葉『知識』へ行きましょう。

平素お世話心、人を愛する心を

今一度胸に刻みましょう！！！



職業奉仕月間に因んで

国際ロータリー第2770地区

2007-08年度 職業奉仕委員会

委員長 大 木 伸太郎（越谷東RC）

ここ数年、連日勤え上げたらさりがないほど人々、とりわけ職業人の極度の過労振りは、身の覺醒を問はず随時に目に見えるものがあります。

ロータリーの歴史が100年を超えた今、私共ロータリアンはもう一度、源点に因って職業奉仕のあり方を見直す、すなわち、ロータリーは「職業倫理」を重んじる同業人、専門職業人の働き方であることを再確認する活動を進める機会とのことです。職業奉仕会の中村理事長がバナー掲示でもあります。

ロータリーカーたる所見は、「職業奉仕」という考え方にあると言われています。

そこで職業倫理委員会では、職業月間に因んで各クラブにおいて、「職業奉仕はロータリーの看板か?」のテーマで実施クラブフォーラムを開催して頂く。そのフォーラムでの意見を地区的グループごとの勉強会(今年も3グループごとに、11月ないしは12月中に開催)に持ち寄って、意見交換をして、職業奉仕についての認識を深めて頂くことになりました。特日開催日、場所など確定次第、各クラブ見てにご連絡しますので、ぜひ参加して下さい。

また、職業保持運営委員会では、職業人であるロータリアンの健康保持への取り組み方と現状をアンケートを通して詳細に調査し、今年度は「職業評議」と「スマボリック運動部」を重点的に取り上げ、啓蒙活動を展開していきます。

職業倫理運動も健康保持なくしてありえません。

東山月間に因んで

国際ロータリー第2770地区

2007-08年度 東山記念奨学部門

部門委員長 染 谷 良 越（高川イブニングRC）

日頃ロータリアン種種の東山記念奨学事業に対し深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

すでにご承知のこととは思いますが、財団法人ロータリー東山記念奨学会、財團設立40周年を向かえ、これまでに約1万8千名に上る留学生支援を通じて地区では450名を越える留学生支援してきました。今年度は33名に増えたことは、これまでのロータリアン一人一人のご協力の実績によるものです。昨年の当地区奨付額は一人平均8万8千円強、通額も千7百万強で4地区中第2位と深いご理解を賜りました。本年も昨年の奨付額をハーダルに超えてまいります。ご理解とご協力を御願いします。

さて、東山月間にもなんで卒話説明ですが、セミナーでも報告させていただきましたが、東山月間だけではなく83クラブ全てに訪問する準備が整っております。是非プログラムの中に組み入れていただきたいと思います。

9月4日（火）吉いたま摩丸に構成より卒話スタートし10月末までに40クラブ卒話説明（9月10日現在）を頂きました。誠に有難うございます。地区委員と東山高校生と共に訪問させていただきます。東山高校学生面接会の一つである奨学生の面接だけでなく、人生経験豊かなロータリアンとの出会いそしてコミュニケーションを図る日本の文化・習慣・日本人の考え方などを聞いて貰いたいと思います。

日本に来て両国の発展を願い勉強している学生に卒話の機会を与えてください。宜しくお願ひいたします。

2007-08年度 東山記念奨学委員会

委員長 渡辺 博 司（上尾西RC）

日頃は東山記念奨学事業にご理解とご協力を賜りありがとうございます。10月は東山月間です。東山奨学部門の方にも各クラブよりたくさんのお話をあり、要請のあったクラブに奨学生と共に私たち地区委員が付き添いで卒話をする時間を与えて頂くといった方針をとらせていただいています。

皆様ご存知のようだに、東山奨学部門は、日本に残れるロータリー創始者・東山梅吉の功績を記念して東山氏の精神的遺産を受け継ぎ、1952年東京ロータリークラブが東山奨学生を認定、1967年文部省の許可を



得て財團法人ロータリー愛山奨学会となり、今年で 40 年目を迎えます。愛山奨学会は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、将来日本と世界とを結ぶ橋となるべく国際社会で活動し、同時にロータリー運動のよい運営者となる人材を育成することを使命とする日本の中核的なロータリー奨学会のプログラムです。奨学生に対しては、心のケアをはじめ金以外の悩みなどの相談者となると共に、奨学生に対して働きを持って対応していきたいと考えております。また、愛山奨学会に対する皆様の寄付でありますので、選ばれた奨学生にも充分に活用していきたいと思います。

地区行事の参加を通して奨学生の保護を見ていただくと共に、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

奉仕プロジェクト部門セミナー報告



奉仕プロジェクト部門

委員長 中 増 公 道

昨年度までは職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕がそれぞれの部門として別々に行っていたセミナーですが、CLPに基づいた地区組織の変更により、今年度は奉仕プロジェクト部門のセミナーとして 8 月 24 日、大宮「清水園」にて開催されました。西新宿しゃか、400 名程の多くの皆様にご出席をいただきました。

第一回会議では熊本城駿賀神社宮司の本田光耀様より「まことの奉仕」のテーマによる感動的な講演をいただきました。自らが実験されている人道的な奉仕活動として、多くの困難を乗り越えてペトナムに小学校を建設したのを始めとして、学校に通えない子供たちのために駒澤病院を立ち上げ、その資金援助を多くのロータリアンに呼びかけた結果、子供たちだけでなく地域住民からも大変に感謝されているという活動は、まさにロータリーの【運営の奉仕】であるということを多くの皆様が感じられたことと思います。

分科会では、今年度奉仕プロジェクト部門の基本方針もあります。各クラブの奉仕プロジェクトに対する実績・能力、そして情報の提供をするため、各委員会ごとに分かれ、より具体的な説明が行われました。また分科会では今年度各クラブが取り組んでいるさまざまなプロジェクトに対して活発な質疑応答がありました。

その後第二回会議では、それぞれの分科会の発表があり、最終的に選ばれたセミナーが開会となりました。

開会ではご出席いただいた多くの皆様が本田様と握手を交わされ、握手は「手に重つないで」の大合唱の下、盛況となりました。ご出席をいただきました多くの皆様に感謝申し上げますと共に、地区内全ての会員が熱意あるロータリアンとして行動し、元気ある奉仕プロジェクトが実現されますことをご祈念いたしまして、セミナーの開幕とさせていただきます。



熊本城駿賀神社宮司
本田 光耀 様



講 演「まことの奉仕」

分科会



(国際奉仕部会)



(社会奉仕部会)



(職業奉仕部会)



(奉仕プロジェクト部会)



米山記念奨学部門セミナー報告



米山記念奨学部門

委員長 梅 谷 良 雄

米山記念奨学部門セミナーが8月4日(土)にラフレ会館にて開催されました。各クラブ会長・クラブ米山奨助長・カウンセラー・大学指導教官・米山奨学生・米山学友会・ガバナー補佐。各部門委員長の参加を頂きました。出席者数228名となりました。このように多様の参加いただいた事も、中村ガバナー・藤田研磨リーダー・リーダーシップの歴史と深く感謝申し上げます。

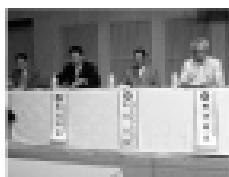
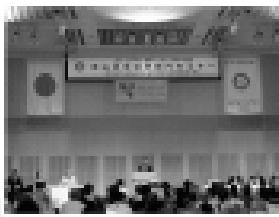
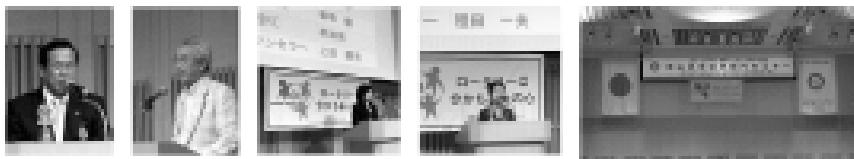
今年度セミナーでは式典前に「よねやま」との幹、ビデオ上映させていただいたところ、熱心に興味深く聞いていただけた事、米山を理解していただけたかと思います。そして、中村ガバナーより米山部門について熱意あるご挨拶を頂きました。続いて研磨リーダー藤田P.M.のご挨拶と米山奨学生会理事久慈義和P.M.に米山記念奨学生会報告を振りやすくご説明を頂きました。続いて米山部門担当幹事田中龍太P.M.に米山奨学生会についてお話を頂きました。

そして米山部門をミーティングパワーポイントを使用し、スライドを覗いていただきながら米山記念奨学部門を理解していただけるよう企画をさせて頂きました。まずは、私が米山記念奨学部門についてスライドにより説明をさせて頂き、藤田剛義委員長より、中村吉柳選2万円以上、乾社上の優秀掛額、34回優勝1枚目額、卓頭は年間通じ全クラブに訪問する準備が整っていますと説明がありました。続いて奨学委員長より今後の活動についての話題、9月29日(土)米山学友会・米山奨学生による合同奉仕班活動室内と米山学友会連携を尋ねる運動。その他、学友委員会活動発表をされました。

休憩後、米山奨学生25名に8分間スピーチ(祝賀報告)を各自、最後に大学指導教官の皆様にご挨拶を頂いた回数に、米山奨学生会朝度により米山奨学生が研究に集中でき感謝に耐えませんと感謝されていました。

続々と中村ガバナーより地区大会ゴルフ団をロータリー米山記念奨学会懇親会設立40周年記念ゴルフ大会と賀詞交換されました。

米山記念奨学部門セミナーが有り難い終了された事と共にセミナー参加者皆様の熱意を感じ握ることができました。今後も米山記念奨学部門にご支援ご協力をお願い申し上げます。有難うございました。





ロータリー財團

佐々木 勝 （佐々木会社）	高橋 明 （高橋会社）	大庭 勤 （大庭会社）	M・P・H・F・D	M・P・H・F・D	M・P・H・F・D	M・P・H・F・D
吉田 雄一 （吉田会社）	石川 利博 （石川会社）	佐々木 邦 （佐々木会社）	M・P・H・F・D	M・P・H・F・D	鶴池 勝治 （鶴池会社）	紀島 一弘 （紀島会社）
吉田 雄一 （吉田会社）	石川 利博 （石川会社）	佐々木 邦 （佐々木会社）	M・P・H・F・D	M・P・H・F・D	鶴池 勝治 （鶴池会社）	紀島 一弘 （紀島会社）
白崎 勇 （白崎会社）	西井 良一 （西井会社）	種田 邦之 （種田会社）	小林 康裕 （小林会社）	三枝 和周 （三枝会社）	兒島 信弘 （兒島会社）	堀岡 正 （堀岡会社）
白崎 勇 （白崎会社）	西井 良一 （西井会社）	種田 邦之 （種田会社）	小林 康裕 （小林会社）	三枝 和周 （三枝会社）	兒島 信弘 （兒島会社）	堀岡 正 （堀岡会社）
大内昌太郎 （大内会社）	高木 横二 （高木会社）	増野 達郎 （増野会社）	園谷 卓哉 （園谷会社）			

木山賞学会

木山賞会員登録	木山賞会員登録	木山賞会員登録	木山賞会員登録	木山賞会員登録	木山賞会員登録	木山賞会員登録
木山 豊治 （木山会社）	道重 大輔郎 （道重会社）	山崎 秀夫 （山崎会社）	石井 寿一 （石井会社）	澤源 伸光 （澤源会社）	鶴岡 文夫 （鶴岡会社）	近藤 敏男 （近藤会社）
木山 豊治 （木山会社）	道重 大輔郎 （道重会社）	山崎 秀夫 （山崎会社）	石井 寿一 （石井会社）	澤源 伸光 （澤源会社）	鶴岡 文夫 （鶴岡会社）	近藤 敏男 （近藤会社）
水嶋順一郎 （水嶋会社）	大塚 順造 （大塚会社）	雄田 浩司 （雄田会社）	岡村 錠義 （岡村会社）	齊藤 一雄 （齊藤会社）	黒野 宗義 （黒野会社）	園谷 卓哉 （園谷会社）



2007～'08年度 3月の会員数及び出席報告

2012年1月1日起施行的《最高人民法院关于审理民间借贷案件适用法律若干问题的规定》第十六条规定：